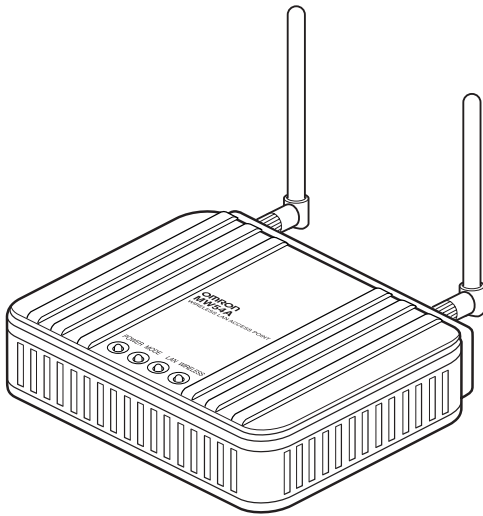


WIRELESS LAN ACCESS POINT MW54A

[IEEE802.11a(W52/W53)/b/g]規格対応

無線LANアクセスポイント 取扱説明書



[活用編]

各章について

各メニューの設定画面について説明しています。
設定画面は、用途別に下記の各メニューに分類されています。

参照ページ
▼

メニュー名など
▼

3ページ	ネットワーク設定	1
13ページ	無線設定	2
35ページ	システム設定	3
41ページ	情報表示	4
45ページ	メンテナンス	5
51ページ	ご参考に	6

はじめに

この度は、オムロン無線LANアクセスポイントMW54Aをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本取扱説明書では、本製品の取扱方法や注意事項を説明していますので、お使いになる前に必ずお読みになり、十分理解していただくようお願いします。また、必要なときにいつでも見るできるよう、大切に保管してください。

この章では、
「ネットワーク設定」メニューで表示される設定画面について説明します。

1-1. 「LAN側IP」設定画面	4
■ 本体名称設定	4
■ VLAN設定	4
■ IPアドレス設定	5
1-2. 「DHCP」設定画面	6
■ DHCPサーバ設定	6
■ 静的DHCPサーバ設定	8
1-3. 「ブリッジ」設定画面	9
■ ブリッジ設定	9

1 「ネットワーク設定」メニュー

1-1.「LAN側IP設定」画面

〈登録〉ボタン …………… 「LAN側IP」設定画面の設定内容を変更したとき、[IPアドレス設定]項目の[IPアドレス]欄と[サブネットマスク]欄、および[VLAN設定]項目(※下記)以外の設定内容が有効になります。
※[IPアドレス]欄と[サブネットマスク]欄、および[VLAN設定]項目(※下記)を変更した場合は、画面上で確定されますが、〈登録して再起動〉をクリックするまで有効になりません。

〈取消〉ボタン …………… 「LAN側IP」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉や〈登録して再起動〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

〈登録して再起動〉ボタン …… 本製品を再起動して、「LAN側IP」設定画面で変更したすべての設定内容が有効になります。

■ 本体名称設定

① 本体名称 …………… 本製品の名称を設定します。
名前や名称を、任意の英数字や記号[半角31(全角15)文字以内]で入力します。(出荷時の設定：MW54A)
設定した名称は、「Telnetによる接続」(※6-1章)でログインしたときのログインメッセージに使用されます。

■ VLAN設定

② マネージメントID …………… VLAN機能についての設定です。
本製品に設定された同じID番号を持つネットワーク上の機器からのアクセスだけを許可できます。(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「0～4095」です。
※VLAN IDを使用しないネットワークから本製品にアクセスするときは、「0」を設定します。

■ IPアドレス設定

③ DHCPから自動取得 ………

LAN側IPアドレスを設定します。

DHCPサーバから割り当てされたIPアドレスを、自動的に取得「する」か「しない」かを設定します。（出荷時の設定：しない）

④ IPアドレス ……………

本製品のIPアドレスを入力します。

（出荷時の設定：192.168.0.1）

本製品を稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。

※本製品のDHCPサーバ機能を使用する場合は、[DHCPサーバ設定]項目の[割り当て開始IPアドレス]欄(P6)についてもネットワーク部を同じ設定にしてください。

⑤ サブネットマスク ………

本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。（出荷時の設定：255.255.255.0）

本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのネットワークに合わせたサブネットマスクに変更してください。

[例]

サブネットマスクを「255.255.255.248」と設定する場合、「192.168.0.2～192.168.0.6」が同じネットワークとして端末に割り当てできます。

この場合、下記のIPアドレスは端末に割り当てできません。

「192.168.0.0」：ネットワークアドレス

「192.168.0.1」：本製品のLAN側IPアドレス

「192.168.0.255」：ブロードキャストアドレス

⑥ デフォルトゲートウェイ …

ネットワーク管理者から指定されたときなど、必要に応じて、有線（LAN）側に通知するゲートウェイを入力します。

1 「ネットワーク設定」メニュー

1-2.「DHCP」設定画面

■ DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能についての設定です。

ネットワーク設定 | LAN側IP | DHCP | ブリッジ |

無線設定 [登録] [取消]

システム設定

情報表示

メンテナンス

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能を使用 ① しない する

割り当て開始IPアドレス ② 192.168.0.10

割り当て個数 ③ 10 個

サブネットマスク ④ 255.255.255.0

リース期間 ⑤ 4320 分

ドメイン名 ⑥

デフォルトゲートウェイ ⑦

プライマリDNSサーバ ⑧

セカンダリDNSサーバ ⑨

プライマリWINSサーバ ⑩

セカンダリWINSサーバ ⑪

静的DHCPサーバ設定

登録の追加

MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	[追加]

現在の登録

MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	

- ① DHCPサーバ機能を使用 … 本製品をDHCPサーバとして使用「する」か「しない」かを設定します。
(出荷時の設定：しない)
本製品に有線および無線で接続している端末のTCP/IP設定を、「IPアドレスを自動的に取得する」と設定している場合、本製品のDHCPクライアントになります。
この機能によって、動的にDHCPサーバである本製品からIPアドレス/サブネットマスクが与えられます。
- ② 割り当て開始IPアドレス … 本製品に有線および無線で直接接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。
(出荷時の設定：192.168.0.10)
- ③ 割り当て個数 ……………… 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。
(出荷時の設定：10)
[割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、0～128(無線LANで接続する端末を含む)までです。
※128個を超える分については、設定できませんので手動でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ サブネットマスク …………… [割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクです。
(出荷時の設定：255.255.255.0)

- ⑤ リース期間 DHCPサーバがローカルIPアドレスを定期的に自動で端末に割り当てなおす期限を分で指定します。 (出荷時の設定：4320) 設定できる範囲は、「1～9999」です。

- ⑥ ドメイン名 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバが有線で接続する端末に通知するネットワークアドレスのドメイン名を127文字(半角英数字)以内で入力します。

- ⑦ デフォルトゲートウェイ ... ネットワーク管理者から指定されたときなど、必要に応じて、有線(LAN)側に通知するゲートウェイを入力します。

- ⑧ プライマリDNSサーバ 本製品のDHCPサーバ機能を使用する場合に有効な機能で、必要に応じて使い分けたいDNSサーバのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。
入力すると、本製品のIPアドレスの代わりに設定したDNSサーバアドレスをDHCPクライアントに通知します。

- ⑨ セカンダリDNSサーバ [プライマリDNSサーバ]欄と同様に、使い分けたいDNSサーバアドレスのもう一方を入力します。

- ⑩ プライマリWINSサーバ ... Microsoftネットワークを使ってWINSサーバを利用する場合は、WINSサーバアドレスを入力します。
WINSサーバのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。

- ⑪ セカンダリWINSサーバ ... 「プライマリWINSサーバ」と同様、WINSサーバのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。

1 「ネットワーク設定」メニュー

■ 静的DHCPサーバ設定

特定の端末に割り当てるIPアドレスを固定するときの設定です。

DHCPサーバ設定	
DHCPサーバ機能を使用	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
割り当て開始IPアドレス	192.168.0.10
割り当て個数	10 個
サブネットマスク	255.255.255.0
リース期間	4320 分
ドメイン名	
デフォルトゲートウェイ	
プライマリDNSサーバ	
セカンダリDNSサーバ	
プライマリWINSサーバ	
セカンダリWINSサーバ	

静的DHCPサーバ設定	
登録の追加	
MACアドレス	IPアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/>	
現在の登録	
MACアドレス	IPアドレス
00-90-C7-B4-00-14	192.168.0.50

DHCPサーバ機能を使用して、自動的に割り当てるIPアドレスを特定の端末に固定するとき、端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録する欄です。

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大16個の組み合わせまで登録できます。

登録する端末のIPアドレスは、DHCPサーバ機能による割り当て範囲および本製品のIPアドレスと重複しないように指定してください。

【登録例】

登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

静的DHCPサーバ設定	
登録の追加	
MACアドレス	IPアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/>	
現在の登録	
MACアドレス	IPアドレス
00-90-C7-B4-00-14	192.168.0.50
<input type="button" value="削除"/>	

1-3. 「ブリッジ」設定画面

■ ブリッジ設定

ブリッジ接続のスパニングツリー機能を設定するとき使用します。



〈登録〉ボタン …………… 「ブリッジ」設定画面で変更した内容を画面上で確定するボタンです。
 ※〈登録して再起動〉をクリックするまで有効になりません。

〈取消〉ボタン …………… 「ブリッジ」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

〈登録して再起動〉ボタン …… 本製品を再起動して、「ブリッジ」設定画面で変更したすべての設定内容を有効にします。

① スパニングツリー機能を使用 ……………

経路のループを検出し、パケットが無限に循環するのを回避して、最適な経路を作成する機能を使用「する」か「しない」かを設定します。
 (出荷時の設定：しない)
 スパニングツリー機能を設定すると、経路障害のないときは、冗長リンクを検出して重複する経路のうち優先度の低い方を遮断します。
 ブリッジ間で経路障害が起こったときは、正常時に遮断されていた経路を使用してネットワークの正常な稼働を保証します。

1 「ネットワーク設定」メニュー

■ブリッジ設定(つづき)

The screenshot shows the 'ネットワーク設定' (Network Settings) menu with the 'ブリッジ' (Bridge) sub-menu selected. The 'ブリッジ設定' (Bridge Settings) section is highlighted in orange and contains the following items:

設定項目	設定値
スパンニングツリー機能を使用	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
ブリッジ優先度(Bridge Priority)	32768
エイジングタイム(Aging Time)	300 秒
マックスエイジ(Max Age)	20 秒
ハロータイム>Hello Time)	2 秒
転送遅延(Forward Delay)	15 秒
パスコスト(Path Cost)	有線LAN 19
	無線LAN 100
ポート優先度(Port Priority)	有線LAN 128
	無線LAN 128

- ② **ブリッジ優先度** ……………
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。
- ブリッジで通信する本製品の優先度を決定する値で、設定値が小さいほど、優先度が高くなります。
設定できる範囲は「0～65535」で、一番優先度が高いAP-50Wが、そのネットワークのルートブリッジになります。
(出荷時の設定：32768)
※同じ値が設定された機器がある場合は、MACアドレスの小さい機器の優先度が高くなります。
- ③ **エイジングタイム** ……………
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。
- 本製品が自動学習したMACアドレスをアドレステーブルに記憶しておく時間を指定します。(出荷時の設定：300)
設定できる範囲は、「15～1000000(秒)」です。
データが流れない状態が、この欄に設定された時間つづく、アドレステーブルから削除されます。
- ④ **マックスエイジ** ……………
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。
- BPDU(Bridge Protocol Data Unit)を指定します。
設定できる範囲は、「6～40(秒)」です。(出荷時の設定：20)
- ⑤ **ハロータイム** ……………
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。
- 本製品がルートブリッジとして動作するとき、本製品からBPDU情報を送出する間隔を設定します。
設定できる範囲は、「1～10(秒)」です。(出荷時の設定：2)
- ⑥ **転送遅延** ……………
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。
- ネットワークの再編成中に学習したMACアドレスの有効期限を指定します。
設定できる範囲は、「4～30(秒)」です。(出荷時の設定：15)

- ⑦ **パスコスト** …………… ネットワーク全体のブリッジとルートブリッジ間の優先データパスの決定に利用される値で、各ポートからルートブリッジまでの経路コストが小さいブリッジが優先されます。
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。 設定できる範囲は、「0～1000000」です。
(出荷時の設定 有線LAN：19／無線LAN：100)
- ⑧ **ポート優先度** …………… ブリッジで通信する本製品のポートごとに優先度を決定する値で、設定値が小さいほど、ポート優先度が高くなります。
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。 設定できる範囲は、「0～255」です。
(出荷時の設定 有線LAN：128／無線LAN：128)
※各ポートで同じ値が設定されている場合は、物理的なポート番号の小さい順に優先度が高くなります。

この章では、
「無線設定」メニューで表示される設定画面について説明します。

2-1.「無線LAN」設定画面	14
■ BSSID	14
■ 無線LAN設定	15
2-2.「暗号化」設定画面	22
■ 暗号化設定	22
■ RADIUS設定	26
■ WEPキー	27
2-3.「仮想BSS」設定画面	28
■ VLAN設定	28
■ 仮想BSS設定	30
■ VLAN登録一覧	31
■ 仮想BSS登録一覧	31
2-4.「AP間通信」設定画面	32
■ BSSID	32
■ ステーションリスト	32
■ 登録済み端末リスト	33
2-5.「MACフィルタリング」設定画面	34
■ MACアドレスフィルタリング設定	34

2 「無線設定」メニュー

2-1.「無線LAN」設定画面

ネットワーク設定 | **無線LAN** | 暗号化 | 仮想BSS | AP間通信 | MACフィルタリング |

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

登録 | 取消 | 登録して再起動

無線設定

システム設定

情報表示

メンテナンス

① BSSID	00-90-C7-99-56-74
無線LAN設定	
② 無線UNITを使用	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
③ SSID	LG
④ VLAN ID	0 <small>VLAN IDを付けない場合は0を入力</small>
⑤ ANY接続拒否	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑥ 無線端末間通信を禁止	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑦ チャンネル	11CH (2462 MHz)
⑧ Rts/Ctsスレッシュホールド	なし
⑨ 11g保護機能	有効
⑩ 11gベーシックレート	802.11b
⑪ パワーレベル	高
⑫ 接続端末制限	63
⑬ ビーコン間隔	100 ミリ秒
⑭ DTIM間隔	1
⑮ Super AGを使用	しない

〈登録〉ボタン …………… 「無線LAN」設定画面で変更した内容を画面上で確定するボタンです。
変更した内容は、〈登録して再起動〉をクリックするまで有効になりません。

〈取消〉ボタン …………… 「無線LAN」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉や〈登録して再起動〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

〈登録して再起動〉ボタン …… 本製品を再起動して、「無線LAN」設定画面で変更したすべての設定内容が有効になります。

■ BSSID

① BSSID ……………

本製品に内蔵された無線LANカードの[BSSID]を表示します。

「情報表示」メニューの「ネットワーク」情報画面に表示される[本体MACアドレス](P42)とは異なります。

※「ユニットを使用していません。」と表示されている場合は、[無線LAN設定]項目の[使用モード]欄で「Access Point」に設定すると、[BSSID]を表示して、無線通信機能が使用できるようになります。

■ 無線LAN設定

② 無線UNITを使用 ……………

本製品に内蔵された無線LANカードに対する設定です。

本製品の無線通信機能を使用「する」か「しない」かを設定します。

(出荷時の設定：する)

「OFF」を設定したときは、無線通信機能は停止して、[BSSID]項目に、「無線UNITを使用していません。」と表示します。

③ SSID ……………

無線ネットワークのグループ分けをするために使用します。

無線ルータや無線アクセスポイントが無線伝送可能領域内に複数存在しているような場合、個々の無線ネットワークグループを[SSID(無線ネットワーク名)]で識別したり、異なる無線ネットワーク名で通信するグループからの混信を防止できます。

異なる[SSID]を設定している無線LAN端末とは通信できません。

大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字、半角31文字以内で入力します。

(出荷時の設定：LG)

※[仮想BSS登録一覧]項目(☞P31)に表示された[SSID]は、設定できません。

※[SSID]と[ESS ID]は、同じ意味で使用しています。

本製品以外の無線LAN機器では、[ESS ID]と表記されている場合があります。

④ VLAN ID ……………

[無線LAN設定]項目で設定した[SSID](出荷時の設定：LG)の無線グループにID番号を設定します。

(出荷時の設定：0)

設定した同じID番号で稼働する有線ネットワークとのあいだでVLANを構成できます。

設定できる範囲は、「0～4095」です。

ID番号を付けないときは、「0」を設定します。

※「仮想BSS」設定画面の[VLAN設定]項目で、[VLAN ID]欄を設定している場合は、重複しないように設定してください。

※本製品の設定画面にアクセスするときは、「LAN側IP」設定画面の[VLAN設定]項目に設定された[マネジメントID]と同じID番号のネットワークに接続された端末からアクセスできます。

⑤ ANY接続拒否 ……………

「ANY」モード(アクセスポイント自動検索接続機能)で通信する無線LAN端末からの検索や接続を拒否「する」か「しない」かを設定します。

(出荷時の設定：しない)

この設定を「する」にした場合、「ANY」モードで通信する無線LAN端末が使用する「Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続」に検索されません。

2 「無線設定」メニュー

2-1. 「無線LAN」設定画面

■ 無線LAN設定(つづき)

⚠️ ご注意

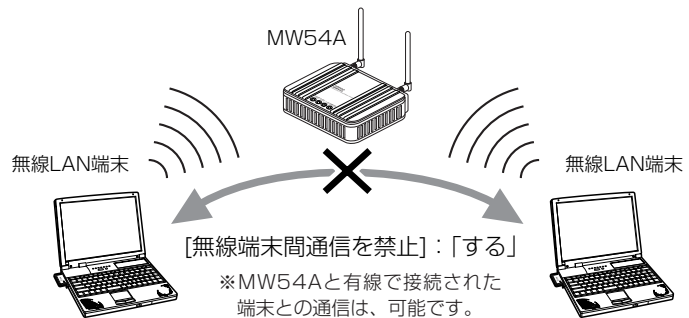
「52～64」のチャンネルを設定しているときは、AP間通信機能(※2-4章)を使用できません。

ネットワーク設定	
無線設定	無線LAN 暗号化 仮想BSS AP間通信 MACフィルタリング
無線LANの暗号化機能が設定されていません。 安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。	
登録 取消 登録して再起動	
システム設定	
情報表示	
メンテナンス	
① BSSID	00-90-C7-99-56-74
無線LAN設定	
② 無線UNITを使用	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
③ SSID	LG
④ VLAN ID	0 VLAN IDを付けない場合は0を入力
⑤ ANY接続拒否	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑥ 無線端末間通信を禁止	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑦ チャンネル	11CH (2462 MHz)
⑧ Rts/Ctsスレッシュホールド	なし
⑨ 11g保護機能	有効
⑩ 11gベーシックレート	802.11b
⑪ パワーレベル	高
⑫ 接続端末制限	63
⑬ ビーコン間隔	100 ミリ秒
⑭ DTIM間隔	1
⑮ Super AGを使用	しない

⑥ 無線端末間通信を禁止 ……

本製品を無線ホットスポット接続に利用するときなどは、設定を変更すると本製品を介して無線LAN端末どうしが通信することを禁止できます。(出荷時の設定：しない)

※この機能は、本製品で設定している無線チャンネルに該当する無線LAN規格の無線LAN端末について有効です。



⑦チャンネル

※「36～64」のチャンネルについては、本書18ページをご覧ください。

本製品が無線通信に使用するチャンネルを設定します。

(出荷時の設定：11CH(2462MHz))

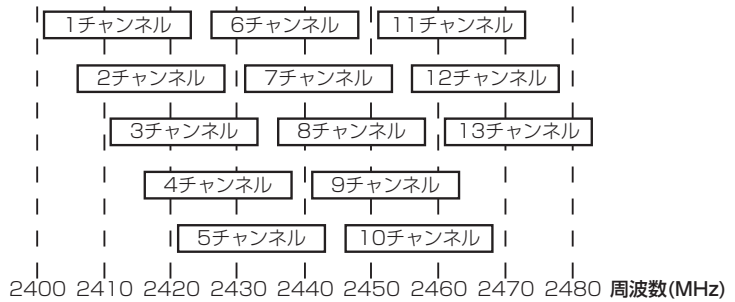
無線LAN端末は、本製品のチャンネルを自動的に検知して通信します。

◎2.4GHz帯[IEEE802.11b/g]規格で通信するときには、「1～13」チャンネルを選択します。

※近くに[IEEE802.11b/g]規格の無線アクセスポイント機能で通信する別の無線ネットワークグループが存在するときは、電波干渉を避けるため、本製品の「チャンネル」は、別の無線ネットワークグループと4チャンネル以上空けて設定してください。それ以下のときは、図に示すように帯域の1部が重複するため混信する可能性があります。

例えば、お互いの設定が、1-6-11チャンネルに設定すると混信しません。

※5.2GHz/5.3GHz帯[IEEE802.11a(W52/W53)]規格で通信する場合(※P25)は、お互いを異なるチャンネルに設定すれば、チャンネル間の電波干渉に配慮する必要はありません。



2 「無線設定」メニュー

2-1. 「無線LAN」設定画面

■ 無線LAN設定(つづき)

⚠️ ご注意

「52~64」のチャンネルを設定しているときは、AP間通信機能(※2-4章)を使用できません。

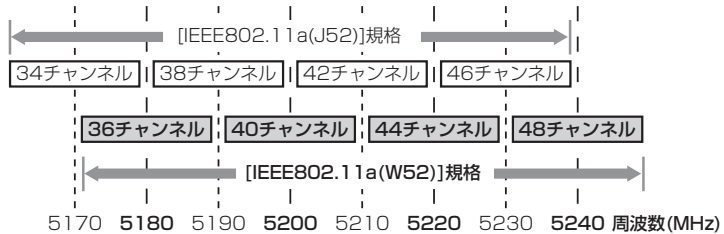
ネットワーク設定		無線LAN 暗号化 仮想BSS AP間通信 MACフィルタリング
無線設定		無線LANの暗号化機能が設定されていません。 安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。
システム設定		登録 取消 登録して再起動
情報表示		① BSSID 00-90-C7-99-56-74
メンテナンス		無線LAN設定
②	無線UNITを使用	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
③	SSID	LG
④	VLAN ID	0 <small>VLAN IDを付けない場合は0を入力</small>
⑤	ANY接続拒否	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑥	無線端末間通信を禁止	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑦	チャンネル	11CH (2462 MHz)
⑧	Rts/Ctsスレッシュホールド	なし
⑨	11g保護機能	有効
⑩	11gベーシックレート	802.11b
⑪	パワーレベル	高
⑫	接続端末制限	63
⑬	ビーコン間隔	100 ミリ秒
⑭	DTIM間隔	1
⑮	Super AGを使用	しない

⑦ チャンネル(つづき)……………

※「1~13」のチャンネルについては、本書17ページをご覧ください。

◎5.2GHz帯[IEEE802.11a(W52)]規格で通信するときは、「36、40、44、48」チャンネルの中から選択します。

※近くに[IEEE802.11a(J52)]規格で無線LAN端末が稼働しているとき、本製品の[IEEE802.11a(W52)]規格をご使用になると、図に示すように電波干渉の原因になることがありますので、どちらかの規格でご使用ください。



※本製品のチャンネル(W52)は、旧仕様(J52)と中心周波数が10MHz異なります。

◎5.3GHz帯[IEEE802.11a(W53)]規格で通信するときは、「52、56、60、64」チャンネルの中から選択します。

※[IEEE802.11a(W53)]規格のチャンネルを選択した場合は、DFS(Dynamic Frequency Selection)機能が有効になります。気象レーダーなど、干渉する電波を検出すると、自動的に電波干渉しない[IEEE802.11a(W53)]規格のチャンネル、または[IEEE802.11a(W52)]規格のチャンネルに変更されます。検出してチャンネルが変更されるまで(約1分間)、本製品への無線アクセスを停止します。使用しているチャンネルを図のように表示します。

チャンネル | 64 (5320MHz DFS) | 使用中チャンネル:52 (5260MHz)

※[IEEE802.11a(W52)]規格のチャンネルに変更されたときは、DFS機能を停止します。

⑧ Rts/Ctsスレッシュ

ホールド ……………

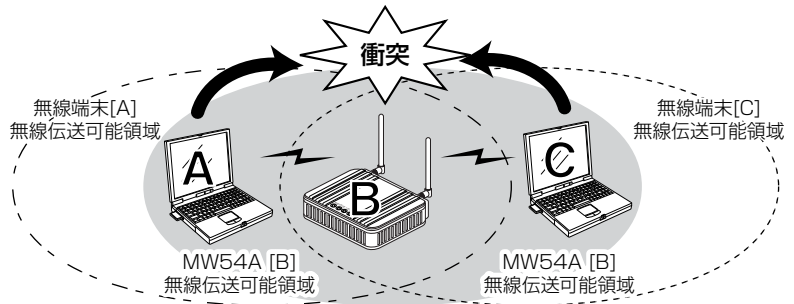
ネゴシエーションするために送るパケットのデータサイズを、「500バイト」または「1000バイト」から選択します。

(出荷時の設定：なし)

Rts/Cts(Request to send/Clear to send)スレッシュホールドを設定すると、隠れ端末の影響による通信速度の低下を防止できます。

隠れ端末とは、下図のように、それぞれが本製品[B]と無線通信できても、互いが直接通信できない無線端末[A]-[C]同士([A]に対して[C]、[C]に対して[A])のことを呼びます。

通信の衝突を防止するには、無線端末[A]から送信要求(Rts)信号を受信した本製品[B]が、無線伝送可能領域内にある無線端末[A]および[C]に送信可能(Cts)信号を送り返すことで、Rts信号を送信していない無線端末[C]に本製品[B]が隠れ端末と通信中であることを認識させます。これにより、Rts信号を送信していない無線端末[C]は、無線端末[B]から受信完了通知(ACK)を受信するまで本製品[B]へのアクセスを自制して、通信の衝突を防止できます。



⑨ 11g保護機能 ……………

※[IEEE802.11a(W52/W53)]規格のチャンネルに設定されているときは、無効な機能です。

無線LAN規格を制限することで、隣接する無線LAN機器との混信を防止し、それらの影響による通信速度の低下を緩和する機能です。

(出荷時の設定：有効)

- ◎「無効」：隣接する[IEEE802.11g]規格の無線LAN機器、または[IEEE802.11b]規格の無線LAN機器から影響を受けることがあります。
- ◎「有効」：[IEEE802.11g]規格と[IEEE802.11b]規格の無線LAN端末間の混信を防止できます。
- ◎「g専用」：隣接する[IEEE802.11b]規格の無線LAN機器から影響を受けません。

2 「無線設定」メニュー

2-1. 「無線LAN」設定画面

■ 無線LAN設定(つづき)

①	BSSID	00-90-C7-99-56-74
無線LAN設定		
②	無線UNITを使用	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
③	SSID	LG
④	VLAN ID	0 <small>VLAN IDを付けない場合は0を入力</small>
⑤	ANY接続拒否	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑥	無線端末間通信を禁止	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
⑦	チャンネル	11CH (2462 MHz)
⑧	Rts/Ctsスレッシュホールド	なし
⑨	11g保護機能	有効
⑩	11gベーシックレート	802.11b
⑪	パワーレベル	高
⑫	接続端末制限	63
⑬	ビーコン間隔	100 ミリ秒
⑭	DTIM間隔	1
⑮	Super AGを使用	<input type="radio"/> しない

⑩ 11gベーシックレート …… [IEEE802.11g]規格でのベーシックレートを設定します。
(出荷時の設定：802.11b)

※[IEEE802.11a(W52/W53)]規格のチャンネルに設定されているときは、無効な機能です。
※出荷時の設定でご使用になることを推奨します。

※[IEEE802.11g]規格でのみ有効です。
各無線LAN規格が対応できる速度は、下記ようになります。

- ◎「802.11」：「1/2」Mbps
- ◎「802.11b」：「1/2/5.5/11」Mbps
- ◎「802.11g」：「1/2/5.5/11/6/12/24」Mbps
- ◎「OFDM」：「6/12/24」Mbps

⑪ パワーレベル …………… 本製品に内蔵された無線LANカードの送信出力を設定します。
高/中/低(3段階)の中から選択できます。(出荷時の設定：高)

本製品の最大伝送距離は、パワーレベルが「高」の場合です。
パワーレベルを低くすると、それに比例して伝送距離も短くなります。

【パワーレベルを低くする目的について】

- ◎本製品から送信される電波が部屋の外に漏れるのを軽減したいとき
- ◎通信エリアを制限してセキュリティを高めたいとき
- ◎比較的狭いエリアに複数台の無線アクセスポイントが設置された環境で、近くの無線クライアントや無線アクセスポイントとの電波干渉を無くして、通信速度の低下などを軽減したいとき

- ⑫ **接続端末制限** …………… 本製品に同時接続可能な無線LAN端末の台数を設定します。設定できる範囲は、「1～63」です。 (出荷時の設定：63)
 接続制限を設定すると、本製品1台だけに接続が集中するのを防止(本製品の負荷を分散)できますので、接続集中による通信速度低下を防止できます。
- ⑬ **ビーコン間隔** …………… 本製品から一定間隔で送信されるパケット(ビーコン)の送信間隔(ミリ秒)を設定します。……………(出荷時の設定：100)
 ※[DTIM間隔](☞P29)を掛けた値が、「5000」を超えないように設定してください。
 設定できる範囲は、「20～1000」です。
 ビーコンとは、無線ネットワークを同期させるための信号です。
 ※設定を変更すると、正常に通信できないことがあります。
 特に必要がない場合は、工場出荷時の状態でご使用ください。
- ⑭ **DTIM間隔**…………… DTIM(Delivery Traffic Indication Message)を送信されたビーコンに挿入する間隔を設定します。 (出荷時の設定：1)
 ※[ビーコン間隔](☞P28)を掛けた値が、「5000」を超えないように設定してください。
 設定できる範囲は、「1～250」です。
 DTIMとは、省電力設定で稼働する無線LAN端末に対して、パケットの送信待ちを伝えるメッセージのことです。
 ※設定を変更すると、正常に通信できないことがあります。
 特に必要がない場合は、工場出荷時の状態でご使用ください。
- ⑮ **Super AGを使用** …………… 米国Atheros Communications社が開発した、独自の無線LAN高速化技術です。 (出荷時の設定：しない)
 「しない」、「する(圧縮なし)」、「する(圧縮あり)」から選択できます。「する(圧縮あり)」を選択すると、通信速度がさらに向上します。
 ※すでに圧縮されているデータを取り扱う機会が多い場合、「する(圧縮あり)」を使用すると、圧縮されたデータを転送しているあいだは、速度が低下する原因となります。
 このような場合は、「する(圧縮なし)」に設定してご使用ください。
 ※端末に装着された無線LANカードが、「Super AG」に対応していない場合は、「Super AGを使用」を「しない」に設定したときと同じ状態になります。
 ※[仮想BSS(VLAN)機能](☞2-3章)と併用する場合は、「する(圧縮なし)」に設定すると通信できます。

2 「無線設定」メニュー

2-2.「暗号化」設定画面

ネットワーク設定 | 無線LAN **暗号化** | 仮想BSS | AP間通信 | MACフィルタリング |

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

登録 取消 登録して再起動

暗号化設定

① ネットワーク認証 オープンシステム・共有キー

② 暗号化方式 WEP RC4 128(04)

③ キージェネレータ

④ PSK(Pre-Shared Key)

⑤ キー更新間隔 120 分

⑥ キーインデックス 2

RADIUS設定

	プライマリ	セカンダリ
⑧ アドレス		
⑨ ポート	1812	1812
⑩ シークレット		
⑪ 再認証間隔	120 分	

WEPキー

⑫ 入力モード 16進数 ASCII文字 13文字

⑬

1	00-00-00-00-00
2	00-00-00-00-00
3	00-00-00-00-00
4	00-00-00-00-00

〈登録〉ボタン …………… 「暗号化」設定画面で変更した内容を画面上で確定するボタンです。変更した内容は、〈登録して再起動〉をクリックするまで有効になりません。

〈取消〉ボタン …………… 「暗号化」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉や〈登録して再起動〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

〈登録して再起動〉ボタン …… 本製品を再起動して、「暗号化」設定画面で変更したすべての設定内容を有効にします。

■ 暗号化設定

① ネットワーク認証 ……………

無線LANの通信データを保護するために暗号化を設定します。

[暗号化方式](②)欄で、「なし」以外を選択したとき、その暗号化を使用する無線LAN端末からのアクセスに対する認証方式を設定できます。(出荷時の設定：オープンシステム・共有キー)
※通信相手と認証モードが異なると通信できません。

◎オープンシステム・共有キー：

無線LAN端末のアクセスに対して、「オープンシステム」と「共有キー」を自動認識しますので、通信相手間で暗号鍵(キー)が同じであれば通信できます。

- ◎オープンシステム：
無線LAN端末のアクセスに対して認証をしません。
- ◎共有キー：
無線LAN端末のアクセスに対して通信相手と同じ暗号鍵(キー)かどうかを認証します。
- ◎WPA(Wi-Fi Protected Access)：
RADIUSサーバを「TKIP/AES」暗号化の認証に使用するとき設定します。
- ◎WPA-PSK
「WPA-PSK」認証を自動認識します。
- ◎IEEE802.1X：
RADIUSサーバを使用して認証するとき設定します。

② 暗号化方式

無線伝送データを暗号化する方式を選択します。
(出荷時の設定：なし)

対応する暗号化方式は、「WEP RC4」、「OCB AES」、「TKIP」、「AES」です。

異なる暗号化方式の相手とは互換性がないので、暗号化方式とビット数は、通信をする相手間で、同じ設定にしてください。

- ◎WEP RC4：
無線通信で一般によく使用されるセキュリティーです。
暗号化方式は、WEP RC4(Rivest's Cipher 4)アルゴリズムをベースに構成されています。
暗号化するデータのブロック長が8ビットで、暗号鍵(キー)の長さを選択できます。
※暗号鍵(キー)の長さは、64(40)/128(104)/152(128)ビットの中から選択できます。
※「WEP RC4 152(128)」方式は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使用して本製品に接続できません。
- ◎OCB AES：
[WEP RC4]より強力な次世代の暗号化方式です。
※Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使用して本製品に接続できません。
- ◎TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)：
Windows XP(修正プログラムをService Pack1に適用)、またはWindows XP(Service Pack2)の端末で使用できます。
※暗号鍵(キー)を一定時間間隔で自動更新しますので、「WEP」より強力です。
- ◎AES(Advanced Encryption Standard)：
Windows XP(修正プログラムをService Pack1に適用)、またはWindows XP(Service Pack2)の端末で使用できます。
※暗号化の強化および暗号鍵(キー)を一定時間間隔で自動更新することで、「TKIP」より強力な暗号化方式です。

2 「無線設定」メニュー

2-2.「暗号化」設定画面

■ 暗号化設定(つづき)

ネットワーク設定 | 無線LAN | **暗号化** | 仮想BSS | AP間通信 | MACフィルタリング |

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

登録 取消 登録して再起動

無線設定
システム設定
情報表示
メンテナンス

暗号化設定

① ネットワーク認証 オープンシステム・共有キー

② 暗号化方式 WEP RC4 128(104)

③ キージェネレータ

④ PSK(Pre-Shared Key)
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑤ キー更新間隔 120 分

⑥ キーインデックス 2

RADIUS設定

⑦ プライマリ セカンダリ

⑧ アドレス

⑨ ポート 1812 1812

⑩ シークレット

⑪ 再認証間隔 120 分

WEPキー

⑫ 入力モード 16進数 ASCII文字 13文字

⑬

1	00-00-00-00-00
2	00-00-00-00-00
3	00-00-00-00-00
4	00-00-00-00-00

③ キージェネレータ ……………

[暗号化方式]②欄で、「WEP RC4 64(40)」、「WEP RC4 128(104)」、「WEP RC4 152(128)」、「OCB AES 128(128)」を選択したとき、暗号化および復号に使う暗号鍵(キー)を生成するための文字列を設定します。

通信する相手間で同じ文字列(大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字/記号)を31文字以内で設定します。

入力した文字はすべて「*(アスタリスク)」,または「●(黒丸)」で表示します。(表示例: **)

[暗号化方式]を選択して、〈登録〉をクリックすると、[キージェネレータ]欄に入力した文字列より生成された鍵(キー)を[WEPキー]項目のテキストボックスに表示します。

[WEPキー]項目の各キー番号のテキストボックスに生成される桁数および文字数は、選択する[暗号化方式]によって異なります。

(取扱説明書[導入編]※3-6章を参照)

※[WEPキー]項目の[入力モード]が「ASCII文字」に設定されている場合は、キージェネレータを使用できません。

※[暗号化方式]欄で「なし」が選択されていると、[WEPキー]項目の各キー番号のテキストボックスに鍵(キー)が生成されません。

※通信相手間で文字列が異なる場合、暗号化されたデータを復号できません。

※[WEPキー]項目から直接設定するときは、[キージェネレータ]欄には何も表示されません。

※「WEP RC4」の場合、先頭の24ビットは、一定時間ごとに内容を自動更新して設定されますので、「WEPキー」項目のテキストボックスには表示されません。

※他社製の無線LAN機器とは互換性がありません。

④ PSK (Pre-Shared Key) …

暗号鍵(キー)を半角英数字で入力します。

[ネットワーク認証](①)欄で、「WPA-PSK」を選択して、[暗号化方式]欄(②)で、「TKIP」または「AES」方式を選択したときに設定できます。

※同じ暗号化方式を使用する相手と同じ暗号鍵(キー)を設定してください。

※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、8～63文字を入力してください。

⑤ キー更新間隔 ……………

[暗号化方式](②)欄で、「TKIP」または「AES」方式の暗号化を設定する場合、暗号鍵(キー)の更新間隔を分単位で指定します。

設定できる範囲は、「0～1440」です。(出荷時の設定：120分)

※「0」を設定すると、更新しません。

⑥ キーインデックス ……………

[暗号化方式](②)欄で、「WEP RC4 64(40)」、「WEP RC4 128(104)」、「WEP RC4 152(128)」、「OCB AES 128(128)」を選択したとき、[WEPキー]項目の「1」～「4」に設定された暗号鍵(キー)のうち送信データの暗号化に使用する鍵(キー)を、テキストボックスの番号で指定します。

(出荷時の設定：1)

「1」～「4」に設定された暗号鍵(キー)の内容が通信相手と同じであれば、通信する相手間で異なる番号を指定しても通信できます。

※本製品に無線LANで接続する端末のキーインデックスを設定するとき、Windows XP(Service Pack適用時を除く)標準のワイヤレスネットワーク接続を使用する場合は、選択範囲が「0」～「3」で、本製品とは異なりますのでご注意ください。

本製品で「1」を選択した場合は、Windows XPの[キーインデックス(詳細)(X)]で「0」を設定することと同じ意味になります。

2 「無線設定」メニュー

2-2.「暗号化」設定画面（つづき）

ネットワーク設定 | 無線LAN | **暗号化** | 仮想BSS | AP間通信 | MACフィルタリング |

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

登録 取消 登録して再起動

暗号化設定

① ネットワーク認証	オープンシステム・共有キー
② 暗号化方式	WEP RC4 128(104)
③ キージェネレータ	
④ PSK(Pre-Shared Key)	
⑤ キー更新間隔	120 分
⑥ キーインデックス	2

RADIUS設定

	プライマリ	セカンダリ
⑧ アドレス		
⑨ ポート	1812	1812
⑩ シークレット		
⑪ 再認証間隔	120 分	

WEPキー

⑫ 入力モード 16進数 ASCII文字 13文字

⑬ 1	00-00-00-00-00
2	00-00-00-00-00
3	00-00-00-00-00
4	00-00-00-00-00

■ RADIUS設定

RADIUSサーバによる無線LAN端末へのWPA認証、またはIEEE802.1X認証接続の設定です。

※EAP-TLSとEAP-TTLS、EAP-PEAPに対応しています。

- ⑦ **プライマリ/セカンダリ** …… [プライマリ]列に設定したサーバから応答がないとき、その次にアクセスさせるRADIUSサーバがあるときは、[セカンダリ]列にそのRADIUSサーバアドレスを設定します。
- ⑧ **アドレス** …………… 対象となるRADIUSサーバのIPアドレスを入力します。
- ⑨ **ポート** …………… 対象となるRADIUSサーバの認証ポートを設定します。
設定できる範囲は、「1～65535」です。(出荷時の設定：1812)
※ご使用になるシステムによっては、出荷時の設定値と異なることがありますのでご確認ください。
- ⑩ **シークレット** …………… この欄に設定されたキーを使用して、本製品とRADIUSサーバ間の通信をします。
RADIUSサーバに設定された値と同じ値を入力します。
入力は、半角31文字以内の英数字で入力します。
- ⑪ **再認証間隔** …………… RADIUSサーバに再度認証を要求する間隔を分で設定します。
設定できる範囲は、「1～29」を除く「0～9999」です。
(出荷時の設定：120)
※「0」を設定したときは、再認証しません。

- WEPキー [WEP RC4]、または「OCB AES」方式の暗号化で使用する暗号鍵(キー)の設定です。
- ⑫ 入力モード 暗号鍵(キー)の入力のしかたを選びます。
 (出荷時の設定：16進数)
 ※入力モードを変更したときは、「暗号化設定」画面の〈登録〉をクリックしてから、暗号鍵(キー)を入力してください。
 ※ASCII文字が設定されているときは、[暗号化設定]項目の[キージェネレータ]を使用できません。
- ⑬ 鍵(キー)入力用ボックス ... キージェネレータを使用しない場合は、暗号化および復号化に使用する鍵(キー)を、[入力モード](⑫)欄で設定された方法で、直接入力します。
 (出荷時の設定：00-00-00-00-00)
 [入力モード](⑫)欄で「ASCII文字」を設定したときは、16進数以外のアルファベットは、入力しても無効です。
 ※暗号鍵(キー)は、通信する相手間で、すべての[キーインデックス(1~4)]値に対して同じ内容に設定することをお勧めします。
 異なる設定の場合、通信相手間で[キーインデックス]値の設定が異なると、通信できないことがあります。

2 「無線設定」メニュー

2-3.「仮想BSS」設定画面

〈取消〉ボタン …………… 「仮想BSS」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお、「仮想BSS」設定画面の〈再起動〉、[VLAN設定]項目の〈登録〉、[仮想BSS設定]項目の〈追加〉、[仮想BSS登録一覧]項目の〈削除〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

〈再起動〉ボタン …………… 本製品を再起動して、「仮想BSS」設定画面で、〈登録〉および〈追加〉で登録した内容を有効にします。

■ VLAN設定

①番号 …………… [VLAN設定]項目で登録した内容を[VLAN登録一覧]項目に表示する順番を入力します。

番号の小さい順に、[VLAN登録一覧]項目に表示します。

設定できる番号は、「1～16」です。

〈登録〉ボタン

[VLAN設定]項目の①～⑦で設定した内容を[VLAN登録一覧]項目に登録し、その内容を表示します。

〈削除〉ボタン

[VLAN登録一覧]項目で〈編集〉をクリックした内容を登録から削除するときクリックします。

※[仮想BSS登録一覧]項目に表示されているID番号に対する登録内容を削除するときは、先に、[仮想BSS登録一覧]項目からそのID番号に対するSSIDの登録を削除してください。

- ② VLAN ID [仮想BSS設定]項目で設定する[SSID](⑧)に所属する無線グループに、ID番号を設定します。
 同じID番号のネットワークだけが、仮想BSSで通信できます。
 ※[無線LAN設定]項目で、[VLAN ID]欄を設定している場合は、重複しないように設定してください。
 設定できる範囲は、「1～4095」です。
 ※異なるID番号のネットワークとは通信できません。
- ③ ネットワーク認証 仮想BSS無線VLANグループに対する設定です。
 説明は、本書22ページを参照してください。
 (出荷時の設定：オープンシステム・共有キー)
- ④ 暗号化方式 仮想BSS無線VLANグループに対する設定です。
 説明は、本書23ページを参照してください。
 (出荷時の設定：WEP RC4 64(40))
- ⑤ PSK(Pre-Shared Key) ... 仮想BSS無線VLANグループに対する設定です。
 説明は、本書25ページを参照してください。
- ⑥ 入力モード [WEPキー](⑦)欄に入力する暗号鍵(キー)の入力方法を選びます。
 (出荷時の設定：16進数)
- ⑦ WEPキー [暗号化方式](④)欄で、「WEP RC4 64(40)」、「WEP RC4 128(104)」、「WEP RC4 152(128)」、「OCB AES 128(128)」を選択したとき、仮想BSS無線VLANグループの暗号化および復号化に使用する鍵(キー)を、[入力モード](⑥)欄で選択した方法で、直接入力します。
 (出荷時の設定：00-00-00-00-00)
 ※無線LAN端末側の[キーインデックス](キーID)は、「1」を設定してください。

2 「無線設定」メニュー

2-3.「仮想BSS」設定画面(つづき)

■ 仮想BSS設定

登録した[VLAN ID]を使用する仮想BSS無線VLANグループの[SSID]の設定に使用します。

ネットワーク設定 | 無線LAN | 暗号化 | **仮想BSS** | AP間通信 | MACフィルタリング |

無線設定 | 取消 | 再起動 | 再起動が必要な項目が変更されています。

システム設定 | 無線設定 | 情報表示 | メンテナンス

VLAN設定

① 番号 [登録] [削除]

② VLAN ID

③ ネットワーク認証 オープンシステム・共有キー

④ 暗号化方式 WEP RC4 64(40)

⑤ PSK(Pre-Shared Key)
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力。

⑥ 入力モード 16進数 ASCII文字 10桁

⑦ WEPキー 00-00-00-00-00

仮想BSS設定

⑧ SSID

⑨ VLAN ID [追加]

VLAN登録一覧

⑫ 番号	VLAN ID ⑬	⑭ 暗号
⑪ [編集] 1	10	WEP RC4 64(40) (オープンシステム・共有キー) ⑮

仮想BSS登録一覧

⑯ SSID	⑰ VLAN ID
LG10	10

⑱ [削除]

- ⑧ SSID 仮想BSSで使用する無線VLANグループのグループ分けをするために使用します。
この[SSID]が異なると本製品と仮想BSSの無線VLANグループが通信できません。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字、半角31文字以内で入力します。
※最大16の仮想BSS無線VLANグループを登録できます。
※「無線LAN設定」画面で設定されている[SSID](P15)と同じものは、登録できません。
※「無線LAN設定」画面で設定されている[SSID](P15)も、既存の無線グループとして、仮想BSS無線VLANグループと併用できます。
- ⑨ VLAN ID [SSID](⑧)に割り当てるID番号を選択します。
※[VLAN登録一覧]項目に登録された[VLAN ID]から選択します。
- ⑩ <追加> ボタン [仮想BSS設定]項目の⑧～⑨で設定した内容を[仮想BSS登録一覧]項目に登録し、その内容を表示します。

■ VLAN登録一覧

[VLAN設定]項目 (P28) で登録した内容を表示します。

- ⑪<編集> ボタン 設定内容を編集するボタンです。
クリックすると、ボタンの右に表示された内容が[VLAN設定]項目に表示されます。
- ⑫番号 [VLAN設定]項目の[番号]欄で設定した内容を表示します。
- ⑬VLAN ID [VLAN設定]項目の[VLAN ID]欄で設定した内容を表示します。
- ⑭暗号 [VLAN設定]項目の[暗号化方式]欄と[ネットワーク認証]欄で設定した内容を表示します。
暗号化が設定されていないときは、「なし」を表示します。
- ⑮WEPキー/PSK [VLAN設定]項目の[WEPキー]欄、または[PSK(Pre-Shared Key)]欄で設定した内容を表示します。

■ 仮想BSS登録一覧

[仮想BSS設定]項目 (P30) で登録した内容を表示します。

- ⑯SSID [仮想BSS設定]項目の[SSID]欄で設定した内容を表示します。
- ⑰VLAN ID [仮想BSS設定]項目の[VLAN ID]欄で設定した内容を表示します。
※[VLAN登録一覧]項目で、設定した[VLAN ID]の詳細について確認します。
- ⑱<削除> ボタン 仮想BSS登録一覧の内容を削除するときクリックします。

2 「無線設定」メニュー

2-4.「AP間通信」設定画面

■ BSSID

本製品に内蔵する無線LANカードの[BSSID]を表示します。

① BSSID

AP間通信を使用するときは、画面に表示された[BSSID]を相手側のAP間通信対応機器に登録します。

また、本製品には相手側の[BSSID]を「通信AP設定」に登録します。
※無線AP間通信機能は、本製品の通信チャンネルの設定によって、[IEEE802.11a(W52)]規格、または[IEEE802.11g]規格のどちらかで使用できます。
※TKIP/AES暗号化やIEEE802.1X認証と併用できません。

■ ステーションリスト

AP間通信する相手のBSSIDに登録します。

② 登録の追加

AP間通信する相手側(本製品およびAP間通信対応の無線ルータや無線アクセスポイント)の[BSSID]を入力します。
※各アクセスポイントのIPアドレスが重複しないように設定してください。

※〈追加〉をクリックすると、入力した[BSSID]が[登録済み端末リスト]項目に登録されます。
※最大6台分の[BSSID]が登録できます。
※[BSSID]の入力は、半角英数字で12桁(16進数)を入力します。
※[BSSID]を次のように入力すると、同じ[BSSID]として処理します。(入力例：00-90-C7-99-00-02、0090C7990002)

③ 自動検出された端末

[チャンネル]と[SSID]が、本製品と同じ設定の無線ルータや無線アクセスポイントを検出すると、その機器の[BSSID]を表示します。

検出された機器とAP間通信する場合は、この欄の右に表示された〈追加〉をクリックすると、検出された[BSSID]を[登録済み端末リスト]項目に登録できます。

※検出結果を最大32件まで表示します。

※近くに、同じ条件のビル間通信ユニットなどが存在すると、それらの機器の[BSSID]と併せて検出されますのでご注意ください。

■ 登録済み端末リスト

④ 登録済み端末リスト ………

[通信AP設定]項目から登録したBSSIDを表示します。

このリストに表示する[BSSID]を持つAP間通信対応の無線ルータや無線アクセスポイントと、AP間通信できます。

※登録を削除するときは、該当する欄の右端にある〈削除〉をクリックします。

※AP間通信する相手の[BSSID]だけを登録してご使用ください。

それ以外の相手の[BSSID]が複数登録されている場合は、通信速度低下の原因になります。

2 「無線設定」メニュー

2-5.「MACフィルタリング」設定画面

■ MACアドレスフィルタリング設定

MACアドレスを本製品に登録している無線LAN端末だけに、通信を許可するときの設定です。

The screenshot shows the '無線設定' (Wireless Settings) menu with 'MACフィルタリング' (MAC Filtering) selected. The 'MACアドレスフィルタリング設定' (MAC Address Filtering Settings) section is highlighted. It includes a title bar with '登録' (Register), '取消' (Cancel), and '登録して再起動' (Register and Restart) buttons. Below the title bar, there are three numbered steps: ① 'MACアドレスフィルタリングを使用' (Use MAC Address Filtering) with radio buttons for 'しない' (No) and 'する' (Yes); ② '登録の追加' (Add Registration) with a text input field for 'MACアドレス' and an '追加' (Add) button; ③ '現在の登録' (Current Registrations) with a table showing registered MAC addresses, their status, and a '削除' (Delete) button.

登録済みの端末	受信中の端末	通信状況	
00-90-C7-47-00-32		登録済	削除

① MACアドレス

フィルタリングを使用 ……

本製品に登録されたMACアドレスを持つ無線LAN端末だけが、本製品に無線で接続できるように「する」か「しない」かを設定します。
(出荷時の設定：しない)

※「する」を選択すると、[現在の登録]欄に登録されていないMACアドレスを持つ無線LAN端末は、本製品とアクセスできません。

② 登録の追加 ……

アクセスを許可する無線LAN端末のMACアドレスを入力して、〈追加〉をクリックします。

※登録されたMACアドレスは、[登録済みの端末]欄に表示され、MACアドレスフィルタリングが有効なとき、そのMACアドレスをもつ無線LAN端末とだけ通信できます。

※最大256台分のMACアドレスを登録できます。

※入力は半角英数字で12桁(16進数)を入力します。

※2つの入力例は、同じMACアドレスになります。

(入力例：00-90-c7-47-00-32、0090c7470032)

③ 現在の登録 ……

無線LAN端末の登録と通信状況を表示します。

登録されていないMACアドレスを持つ無線LAN端末についても[受信中の端末]欄にMACアドレスを表示しますので、〈追加〉をクリックして、追加登録できます。

※登録を削除するときは、該当する欄の右端にある〈削除〉をクリックします。

この章では、
「システム設定」メニューで表示される設定画面について説明します。

3-1.「本体管理」設定画面	36
■ 管理者ID設定	36
■ 管理者IP設定	37
3-2.「時計」設定画面	38
■ 自動時計設定	38
■ 内部時計設定	38
3-3.「SYSLOG」設定画面	39
■ SYSLOG設定	39
3-4.「SNMP」設定画面	40
■ SNMP設定	40

3 「システム設定」メニュー

3-1.「本体管理」設定画面

⚠️ ご注意
管理者パスワードを忘れた場合、設定を確認できなくなりますのでご注意ください。
この場合、設定を工場出荷時に戻していただくことになります。

ネットワーク設定 | **本体管理** | 時計 | SYSLOG | SNMP

無線設定 [登録] [取消]

システム設定

情報表示

メンテナンス

① 管理者ID設定

① 管理者ID	admin
② 管理者パスワード	<input type="text"/>
③ 確認入力	<input type="text"/>

④ 管理者IP設定

管理者IP1	<input type="text"/>
管理者IP2	<input type="text"/>
管理者IP3	<input type="text"/>
管理者IP4	<input type="text"/>
管理者IP5	<input type="text"/>
管理者IP6	<input type="text"/>
管理者IP7	<input type="text"/>
管理者IP8	<input type="text"/>

〈登録〉ボタン …………… 「本体管理」画面で変更したすべての設定内容が有効になります。

〈取消〉ボタン …………… 「本体管理」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお 〈登録〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

■ 管理者ID設定 …………… 本製品の設定画面へのアクセス制限を設定します。

① 管理者ID …………… 本製品の管理者IDは「admin」固定です。

② 管理者パスワード …………… [管理者ID]に対するパスワードを設定する場合、大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字、半角31文字以内で入力します。
入力した文字は、すべて「*(アスタリスク)」または「●(黒丸)」で表示されます。 (表示例：****)
[管理者パスワード]を設定すると、次のアクセスからパスワードの入力を求められますので、そこに[管理者パスワード]を入力します。

③ 確認入力 …………… 確認のために、パスワードを再入力します。 (表示例：****)

■ 管理者IP設定

④ 管理者IP設定

本製品の設定画面へのアクセスをIPアドレスで制限するときの設定です。

本製品の設定画面へのアクセスを制限する場合に、管理者が本製品に有線または無線でアクセスする端末のIPアドレスを8台まで登録できます。 (入力例：192.168.0.5)

※[管理者IPアドレス]を設定すると、IPアドレスが登録された端末以外は、次回のアクセスから本製品の設定画面にアクセスできなくなります。

※空白の場合は、本製品に接続するすべての端末が設定画面にアクセスできます。

3 「システム設定」メニュー

3-2.「時計」設定画面

〈登録〉ボタン …………… [自動時計設定]項目で変更したすべての設定内容が有効になります。

〈取消〉ボタン …………… 「時計」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

■ 自動時計設定

本製品の内部時計を自動設定するとき、アクセスするタイムサーバの設定です。

① 自動時計設定を使用 …………… インターネット上に存在するタイムサーバに日時の間い合わせをして、内部時計を自動設定します。 (出荷時の設定：しない)

② NTPサーバ IPアドレス …………… 最初にアクセスさせたいタイムサーバのIPアドレスを入力します。
(出荷時の設定：133.100.9.2)

③ アクセス時間間隔 …………… タイムサーバにアクセスさせる間隔を日で設定します。
設定できる範囲は、「0～99」です。 (出荷時の設定：1)
「0」を設定したときは、タイムサーバにアクセスしません。

■ 内部時計設定

本製品の内部時計を設定します。

④ 本体の時刻 …………… 本製品に設定されている時刻を表示します。

⑤ 設定する時刻 …………… 本製品の設定画面にアクセスしたときの時刻を、最初に表示します。
※〈取消〉をクリックすると、空白になります。
WWWブラウザの〈更新〉をクリックすると、端末の時計設定を取得して表示します。

⑥ 〈時刻設定〉ボタン …………… [設定する時刻](⑤)欄に表示された時刻を本製品に設定するボタンです。
時刻を正確に設定するときは、本製品の設定画面に再度アクセスしなおすか、WWWブラウザの〈更新〉をクリックしてから、〈時刻設定〉をクリックしてください。

3-3.「SYSLOG」設定画面

■ SYSLOG設定

指定したホストアドレスにログ情報などを出力する設定です。

- 〈登録〉ボタン …………… 「SYSLOG」設定画面で変更したすべての設定内容が有効になります。
- 〈取消〉ボタン …………… 「SYSLOG」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。
- ① **DEBUGを使用** …………… 各種デバッグ情報をSYSLOGに出力「する」か「しない」かを選択します。
(出荷時の設定：しない)
- ② **INFOを使用** …………… INFOタイプのメッセージをSYSLOGに出力「する」か「しない」かを選択します。
(出荷時の設定：する)
- ③ **NOTICEを使用** …………… NOTICEタイプのメッセージをSYSLOGに出力「する」か「しない」かを選択します。
(出荷時の設定：する)
- ④ **ホストアドレス** …………… SYSLOG機能を使用する場合、SYSLOGを受けるホストのアドレスを入力します。
ホストはSYSLOGサーバ機能に対応している必要があります。

3 「システム設定」メニュー

3-4.「SNMP」設定画面

ネットワーク設定	本体管理 時計 SYSLOG SNMP
無線設定	<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>
システム設定	SNMP設定
情報表示	① SNMP設定を使用 <input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
メンテナンス	② コミュニティID(GET) public
	③ コミュニティID(SET)
	④ 名前
	⑤ 場所
	⑥ 連絡先

〈登録〉ボタン …………… 「SNMP」設定画面で変更したすべての設定内容が有効になります。

〈取消〉ボタン …………… 「SNMP」設定画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお 〈登録〉をクリックすると、変更前の状態に戻りません。

■ SNMP設定

TCP/IPネットワークにおいて、ネットワーク上の各ホストから自動的に情報を収集してネットワーク管理するときの設定です。

- ① SNMP設定を使用 …………… SNMP機能を使用「する」か「しない」かを選択します。
(出荷時の設定：しない)
- ② コミュニティID(GET) …… 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するIDを設定します。
(出荷時の設定：public)
半角31文字以内の英数字で入力します。
- ③ コミュニティID(SET) …… 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から変更することを許可するIDを設定します。
半角31文字以内の英数字で入力します。
- ④ 名前 …………… 名称を設定します。(SNMPv2-MIBのsysName)
- ⑤ 場所 …………… 設置場所を設定します。(SNMPv2-MIBのsysLocation)
- ⑥ 連絡先 …………… 連絡先を設定します。(SNMPv2-MIBのsysContact)

この章では、
「情報表示」メニューで表示される設定画面について説明します。

4-1.「ネットワーク情報」画面	42
■ インターフェース リスト	42
■ インタフェース情報	42
■ 本体MACアドレス	42
4-2.「無線UNIT」画面	43
■ 無線UNIT	43
■ パケット情報	43
■ 端末情報	43
4-3.「SYSLOG」画面	44
■ SYSLOG	44

4 「情報表示」メニュー

4-1.「ネットワーク」情報画面

インタフェース リスト		
インタフェース	IPアドレス	サブネットマスク
tlp0	192.168.0.1	255.255.255.0
lo0	127.0.0.1	255.0.0.0

インタフェース情報		
インタフェース	情報	
tlp0	状況	通信中
	受信/パケット数	1749
	送信/パケット数	1622
atheros0	状況	通信中
	受信/パケット数	329
	送信/パケット数	162

本体MACアドレス
00-90-C7-C2-00-69

■ インタフェースリスト

有線LANのインタフェースのIPアドレスとサブネットマスクを表示します。

※tlp0……SNMPで提供される有線LANインタフェース名もこの名前が表示されます。

lo0……有線LANインタフェースのループバックデバイス表示です。

■ インタフェース情報

有線LANインタフェースの情報を表示します。

※tlp0……有線LANの状況、受信/送信パケット数が表示されます。

atheros0……無線LANの状況、受信/送信パケット数が表示されます。

■ 本体MACアドレス

本製品のMACアドレスを表示します。

※このMACアドレスは、本製品の底面パネルに貼られているシリアルシールにも12桁で記載されています。

4-2.「無線UNIT」画面

ネットワーク設定 | ネットワーク **無線UNIT** SYSLOG |

無線設定 サイトサーバイ中は全ての無線アクセスが停止します

システム設定

情報表示

メンテナンス

無線UNIT

① 情報	MAC 5.6 PHY 4.1 ANALOG 3.6
② BSSID	00-90-C7-99-56-74
③ 動作モード	54Mbps (802.11g)
④ チャンネル	2462MHz (11CH)
⑤ チャンネル使用率	2%

パケット情報

	⑥ 総数	マルチキャスト ⑦	管理フレーム ⑧	エラー ⑨
⑩ 受信	219	168	81045	1166
⑪ 送信	2834	848	3415	860

端末情報

⑫ AID	RSSI	受信レート	MACアドレス ⑭	能力 ⑮
1	⑬	61Mbps (802.11g)	00-90-C7-99-5C-58	ShortSlotTime

- 無線UNIT 無線UNITの設定について、その詳細を表示します。
- ① 情報 MW54Aのハードウェアバージョン情報を表示します。
- ② BSSID MW54AのMACアドレスを表示します。
- ③ 動作モード MW54Aの動作モードを表示します。
- ④ チャンネル MW54Aの動作チャンネルを表示します。
- ⑤ チャンネル使用率 チャンネルの使用率を表示します。

- パケット情報 本製品のパケット数を表示します。
- ⑥ 総数 パケットの総数を表示します。
- ⑦ マルチキャスト マルチキャストパケットの数を表示します。
- ⑧ 管理フレーム 管理フレームパケットの数を表示します。
- ⑨ エラー エラーパケットの数を表示します。
- ⑩ 受信 受信パケット数を表示します。
- ⑪ 送信 送信パケット数を表示します。

- 端末情報 接続端末情報を表示します。
- ⑫ AID 接続端末管理IDを表示します。(AssociationIDの略)
- ⑬ RSSI 受信電波強度を表示します。(ReceiveSignalStrengthの略)
- ⑭ MACアドレス 無線端末のMACアドレスを表示します。
- ⑮ 能力 暗号化・SuperAG・ShortPreambleなどの端末がサポートしている機能を一覧表示します。

4-3.「SYSLOG」画面

■ SYSLOG

基本的な設定と初期値から変更された設定を表示します。

日付・時間	内容
01/01 01:21:16	httpd: thttpd starting on port 80
01/01 01:21:17	root: MM54A Ver: 0.10
01/01 01:21:17	root: System is ready.
10/11 16:33:36	join wireless termina(K0090:c7:99:59:c5)
10/11 16:40:20	remove wireless termina(K0090:c7:99:59:c5)
10/11 16:51:17	join wireless termina(K0090:c7:99:5c:58)
10/11 16:55:20	remove wireless termina(K0090:c7:99:5c:58)
10/11 17:07:51	join wireless termina(K0090:c7:99:5c:58)
10/11 17:13:30	remove wireless termina(K0090:c7:99:5c:58)
10/11 17:13:30	join wireless termina(K0090:c7:99:5c:58)

この章では、
「メンテナンス」メニューで表示される設定画面について説明します。

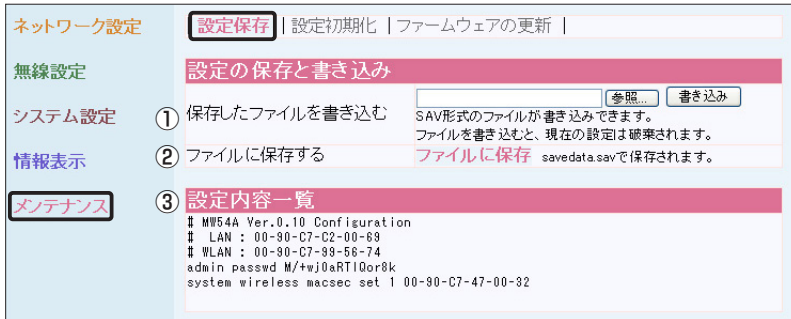
5-1.「設定保存」画面	46
■ 設定の保存と書き込み	46
5-2.「設定初期化」画面	48
■ 設定初期化	48
5-3.「ファームウェアの更新」画面	49
■ ファームウェアの更新	49

5 「メンテナンス」メニュー

5-1.「設定保存」画面

■ 設定の保存と書き込み

本製品の設定内容を保存したり、保存した設定ファイルの本製品に書き込んだりします。

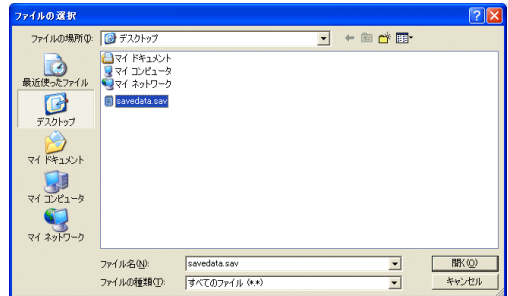


① 保存したファイルを

書き込む ……………

[ファイルに保存する]②欄の操作で保存した設定ファイル(拡張子: .sav)内容を本製品に書き込むとき使用します。

設定ファイルの保存先をテキストボックスに直接入力するか、〈参照...〉をクリックします。



右上の画面から目的の設定ファイルをクリックして、〈開く(O)〉をクリックします。

テキストボックスに保存先を指定後、〈書き込み〉をクリックすると、本製品にその設定内容を書き込みます。

書き込む前の設定内容は、消去されますのでご注意ください。

※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。

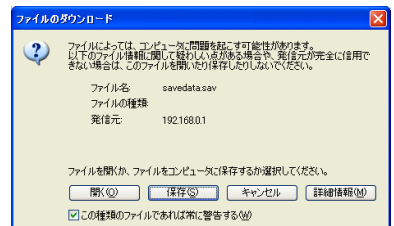
② ファイルに保存する ………

本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップすることができます。

[設定の保存と書き込み]項目で[ファイルに保存]をクリックすると表示される右の画面から〈保存(S)〉をクリックすると、設定ファイルを保存できます。

設定ファイルのファイル形式(拡張子)は、「.sav」です。

保存したファイルは、[保存したファイルを書き込む]①欄の操作で、本製品自身や本製品を使用する別の相手に書き込みできます。



- ③ 設定内容一覧 …………… 基本的な設定と初期値から変更された設定を表示します。
※各画面で設定されたSSID、パスワード、キージェネレータ（暗号鍵の生成元文字列）の内容は、暗号化されて表示されます。そのため、保存されたファイルよりこれらの情報が外部に漏れることはありません。

5 「メンテナンス」メニュー

5-2.「設定初期化」画面

■ 設定初期化

本製品の設定内容をすべて出荷時の状態に戻します。

ネットワーク設定	設定保存 設定初期化 ファームウェアの更新
無線設定	設定初期化
システム設定	<input type="radio"/> 全設定初期化 全ての設定を出荷時の設定に戻します。
情報表示	<input type="radio"/> 無線設定初期化 無線設定を出荷時の設定に戻します。
メンテナンス	<input type="button" value="初期化実行"/>

本製品の設定内容をすべて出荷時の状態に戻します。

[全設定初期化]欄のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れてから、〈実行〉をクリックします。

※無線設定のみを初期化したい場合は[無線設定初期化]欄のチェックボタンをクリックして、チェックマークを入れてください。

- 次の画面を表示後、出荷時の状態になります。

ネットワーク設定	本体を再起動しています。
無線設定	本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。
システム設定	[Back]
情報表示	
メンテナンス	

5-3.「ファームウェアの更新」画面

■ ファームウェアの更新

ファームウェアをバージョンアップするとき使用します。



〈更新の手順〉

- ①パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子：dat)を、[ファームウェアファイルを指定]項目のテキストボックスに直接入力するか、〈参照...〉をクリックして、指定します。
- ②〈更新〉をクリックします。
 - 更新を開始すると、「ファームウェア更新中」と表示されます。

この章では、
Telnetや[CONSOLE]ポートを使用した接続とオンラインヘルプの見かたについて説明します。

6-1.Telnetによる接続	52
■ Windows 2000/Windows XPの場合	52
■ Windows 98/98 SE/Meの場合	52
6-2.故障のときは	53

6 ご参考に

6-1. Telnetによる接続

Telnetでの接続について説明します。

ご使用のOSやTelnetクライアントが異なるときは、それぞれの使用方法をご確認ください。

■ Windows 2000/Windows XPの場合

- ① Windowsを起動します。
- ② [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。名前欄に「Telnet.exe」と入力し、<OK>をクリックします。
- ③ Telnetクライアントが起動しますので、下記のように指定します。
Microsoft Telnet>open 本製品のIPアドレス
(出荷時の設定：192.168.0.1)
- ④ [User]と[Password]が要求されます。
設定したユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。
※初期値では[User]、[Password]ともに設定されていません。
何も入力せずに[Enter]キーを押してください。
- ⑤ ログインメッセージ(Welcome to MW54A!)が表示されます。

■ Windows 98/98 SE/Meの場合

- ① Windowsを起動します。
- ② [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
名前欄に「Telnet.exe」と入力し、<OK>をクリックします。
- ③ Telnetクライアントが起動しますので、メニューバーから[接続]→[リモートシステム]を選択します。
- ④ [接続]ダイアログボックスが表示されます。
ホスト名、ポート、ターミナルの種類を下記のように選択して、<接続(C)>ボタンをクリックします。
ホスト名：本製品のIPアドレス(出荷時の設定：192.168.0.1)
ポート：telnet(23)
ターミナルの種類：vt100
- ⑤ [User]と[Password]が要求されます。
設定したユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。
※初期値では[User]、[Password]ともに設定されていません。
何も入力せずに[Enter]キーを押してください。
- ⑥ ログインメッセージ(Welcome to MW54A!)が表示されます。

6-2.故障のときは 修理・問い合わせ

修理のご案内

修理を希望される場合の依頼方法は 2つあります。

- お買い上げ店に持ち込んでいただく方法
- 商品を当社周辺機器修理センタへ直送していただく方法
(出張修理サービスは行っておりません。ご了承ください。)

■周辺機器修理センタへ直送していただく方法

修理依頼手順

- (1) 「修理依頼票」をコピーしてください。
- (2) 「修理依頼票」に必要事項をすべて記入してください。
故障内容や発生頻度などを詳しく記入してください。
- (3) 製造番号／発送日／発送時の送り状 No. を控えとして以下に記入してください。
修理品のお問い合わせ時に必要です。

製造番号	
発送日	年 月 日
発送業者	
送り状 No.	

- (4) 「修理依頼票」を修理品に同梱し、下記宛先に発送してください。
(送料はお客様負担にてお願いします。)

〒 491-0914
 愛知県一宮市花池 4-13-11
 株式会社エイスタッフ内
 オムロン周辺機器修理センタ宛
 TEL： 03-3436-7213

修理期間

おおむね 1～2週間

※故障状況によっては、1ヶ月以上要する場合がありますのでご了承ください。

修理代金お支払い方法（有償修理の場合）

有償での修理代金は、代金引換または銀行振込にてお支払いください。

- ・代金引換……………ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスを利用します。
- ・先行銀行振込……振り込み確認後、修理品を発送させていただきます。

6 ご参考に

修理依頼票 MW54A

修理依頼時、この依頼票に必要な事項をすべて記入の上、製品に同梱してお送りください。

依頼日	平成 年 月 日 ()		
フリガナ			印
お名前			
ご住所	〒		
会社名 部署名			
電話番号		携帯電話番号	
FAX番号			
E-Mail			
製造番号			
保証書	<input type="checkbox"/> 有り…保証書を同梱ください。 <input type="checkbox"/> 無し…保証期間内でも有償となります。		
故障状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時発生 <input type="checkbox"/> 時々発生 (具体的に…例：週1回) []	
	症状とご要望 ※故障内容を詳しく記入してください。		
お支払い方法 (有償の場合)	<input type="checkbox"/> 代金引換 <input type="checkbox"/> 銀行振込 (完了品の発送はお振込み確認後となります。)		

お問い合わせ票

オムロン カスタマサポートセンタ

TEL : ☎ 0120-77-4717 FAX番号 : 03-3436-7059

- お客様が当社カスタマサポートセンタにお問い合わせいただくときに本票をご利用ください。
- お問い合わせの前に「トラブルシューティング」をご一読ください。

お問い合わせ票
(MW54A)

※本紙をコピーしてご利用ください。

お名前			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			
ご住所	〒		
購入日/台数	年 月 日/	製造番号	
パソコン	メーカー名：		型式名：
	OS名(例:Windows XP)：		
ADSL/FTTH CATV事業者	事業者： 固定IPアドレスサービス契約 有 () 個 ・ 無 <input type="checkbox"/> 未加入 <input type="checkbox"/> 加入済み (工事完了日 年 月 日)		
(ADSL回線の場合) ADSLモデム	メーカー名：		型式名：
プロバイダ (どちらかを選択)	プロバイダ名： <input type="checkbox"/> 未加入/加入予定		<input type="checkbox"/> 加入済
具体的な内容<エラーメッセージ/詳しい症状/発生頻度/配線図をお書きください>			

6 ご参考に

各種問い合わせのご案内

技術的な  お問い合わせは 周辺機器カスタマサポートセンタ まで。

オムロン株式会社

周辺機器カスタマサポートセンタ

TEL :  0120-77-4717 (携帯電話/PHSからご利用いただけます)

FAX : 03-3436-7059

メールアドレス : omron_support@omron.co.jp

受付時間 : 月曜日～土曜日 9:00～17:30 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

修理の  お問い合わせは 周辺機器修理センタ まで。

オムロン株式会社

周辺機器修理センタ

TEL : 03-3436-7213

FAX : 03-3436-7195

メールアドレス : omron_syuri@omron.co.jp

受付時間 : 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所 : 〒491-0914 愛知県一宮市花池 4-13-11

株式会社エイスタッフ内 オムロン周辺機器修理センタ

通信販売の  お問い合わせは オムロンダイレクト まで。

オムロン株式会社

周辺機器オムロンダイレクト

TEL : 03-3436-7212


FAX : 03-3436-7195

メールアドレス : omron_direct@omron.co.jp

受付時間 : 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

* 祝祭日、当社の休日を除く

住所 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

オムロン周辺機器商品はインターネット  でもお買い求めいただけます。

(ホームページアドレス) <http://www.omron.co.jp/ped-j/>

* 無断複写・転載を禁止します。

* 乱丁本・落丁本はお取り替えいたします。

無線LANアクセスポイント

MW54A

取扱説明書 [活用編]

OMRON

周辺機器事業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

TEL:03-3436-7228

WIRELESS LAN ACCESS POINT
MW54A

オムロン株式会社